

MIYAZAWA KENJI & NIIMI NANKICHI

# 賢治と南吉の語り



令和6年 6月9日(日) ① 11:00 開演(10:30 開場)  
② 14:00 開演(13:30 開場)  
同じ内容を2回公演します。公演時間は約2時間です。

★ 会場 東京九段下 鶴めいホール (下図参照)  
会場は音にこだわった木の椅子です。必要な方はクッション等お持ちください。

前回公演「岩手弁で宮沢賢治を語る会」の様様をYouTube(5分ダイジェスト)でどうぞ!!

★ 会費 大人 3,500 円 ★ 定員各回 39 名 要予約

①お名前 ②電話番号 ③公演の時間④人数を明記し、下記アドレスへメールまたはお電話をお願いします。

★ 予約・お問合せ

赤木かん子オフィシャルサイト(埼玉福祉会) shohin-kanko01@saifuku.com

盛岡語りの会雪ぼっこ katari.yukibokko@gmail.com ☎090-6454-3124(19:00~21:00)

★ 主催 児童文学評論家 赤木かん子

★ 後援 宮沢賢治学会イーハトーブセンター 新美南吉顕彰会



## ◆今回語るのとは…◆

第一部

岩手弁で語る  
宮沢賢治

序 「注文の多い料理店」から  
やまなし  
祭の晩

第二部

母の愛と郷愁  
新美南吉

天国  
狐  
最後の胡弓弾き



## ◆語り◆ 盛岡語りの会 雪ぼっこ

児童文学評論家 赤木かん子氏プロデュースの澤口と藤澤の二人組語りユニット。「ぼっこ」は岩手弁で「こども」のこと。

### ● 澤口杜志 (うすゆきそう文庫代表)

長年にわたる文庫活動が評価され平成 26 年度子どもの読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰受賞。  
わらべうた、ストーリーテリングを通し子どもの読書推進に取り組む。全日本語りネットワーク会員。

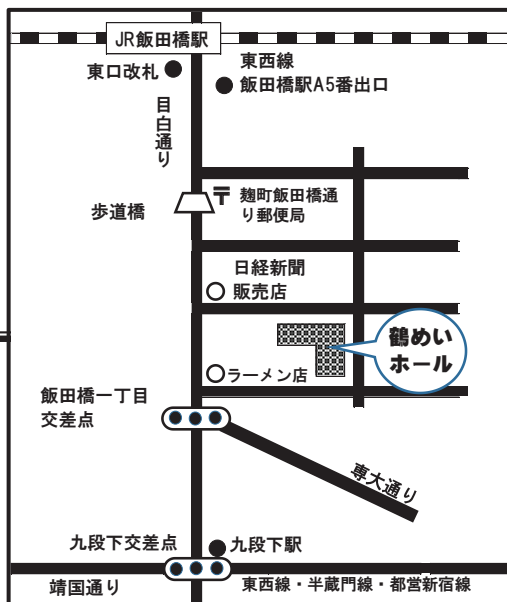
### ● 藤澤陽子 (語りの会 風楽堂 主宰)

語りをひとり語りのパイオニア古屋和子氏、発声を和・アカデミー藤田京子氏、図書館改造他を赤木かん子氏に師事。H30 日本文藝家協会にて独演会。R3 全国公共図書館研究集會にて基調講演。JPIC 読書アドバイザー。全日本語りネットワーク会員。この本だいすきの会岩手支部長 雫石と宮澤賢治を語る会会員。

## ◆特別出演◆ 木村俊介 (和楽器)

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・作詞・音楽監督を行う。自作曲によるコンサートでは、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また、日本各地の民族芸能の旋法・リズムを取り入れた音楽は海外でも高く評価され、これまでに、世界5大陸35ヶ国以上の音楽祭に招聘出演している。2020年より、エッセーとCDによる会員制季刊誌「音之文(オトシブミ)」を発行。

〈木村俊介 website〉 <http://insyo.kmlw.net>



## 鶴めいホール

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-5-4 電話 03-6272-8080

飯田橋駅から

JR 総武線飯田橋駅東口改札徒歩 10 分

南北線・有楽町線・飯田橋駅より徒歩 10 分

東西線飯田橋駅 A5 出口より徒歩 5 分

九段下駅から

東西線・半蔵門線・都営新宿線 九段下駅 3a・3b・5 番出口より徒歩 4 分